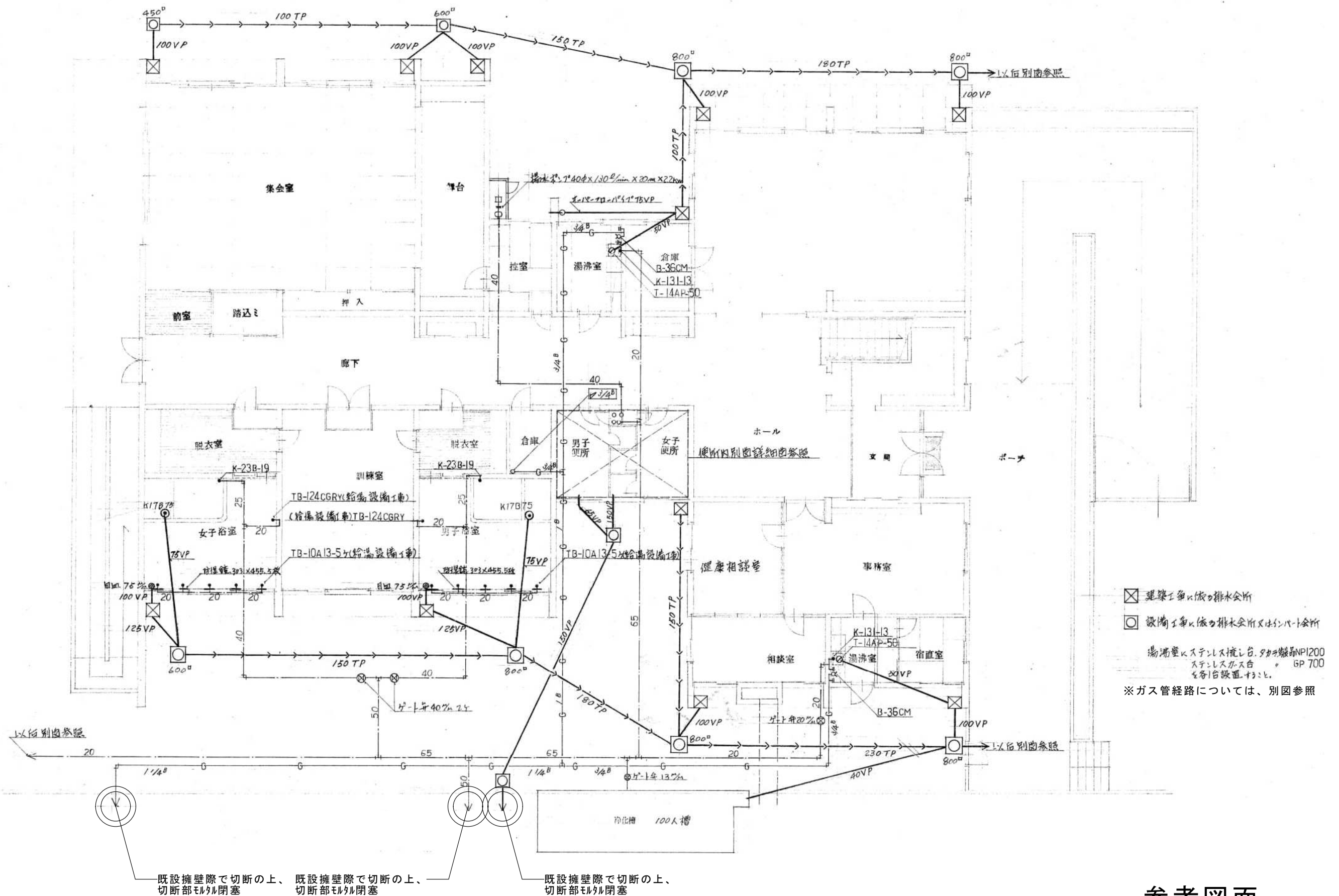


[illegible]

工事名称	旧佐太老人福祉センター解体工事					令和6年度 図面サイズ
図面名称	特記仕様書（1）					A2
設計事務所	株式会社CADS					M
						清水

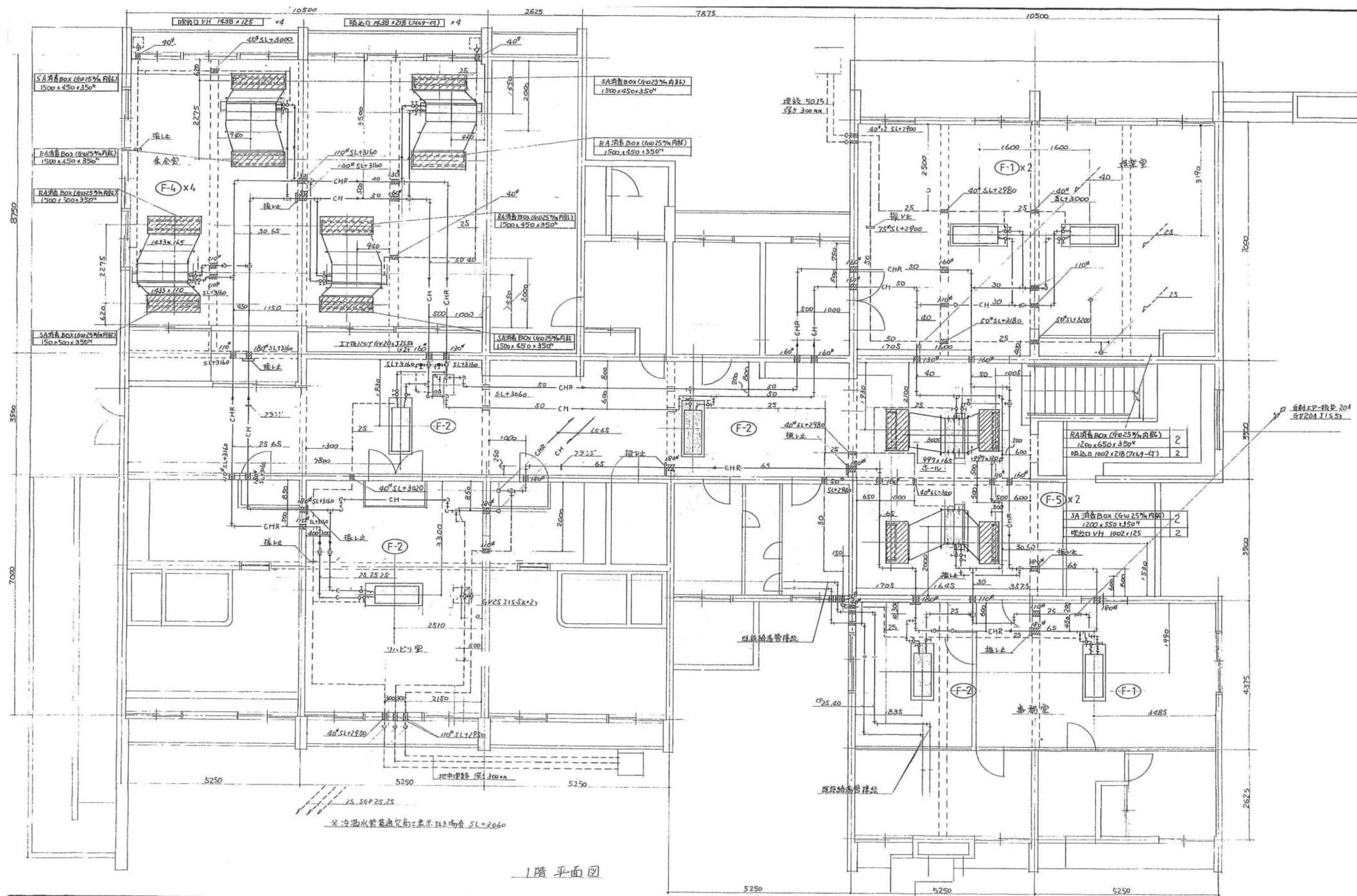
項 目		特 記 事 項		3) 設備科目別仕様 特記項目において選択する事項は、●印のついたものを適用する。		4. 自動制御設備		10. 液化石油ガス設備																				
(2) 機械共通事項		特記項目において選択する事項は、●印のついたものを適用する。		1. 空気調和設備工事		○ 中央監視制御装置		○ ガス設備概要																				
1. 保温工事		・標準仕様書第2編第3章によるほか下記による。		○ 空気調和設備概要		・ ○有り ○無し		○ 配管材料																				
		・標準仕様書第2編第3章の各表において保温材を選択できるものについて、特記なき場合、グラスウールとし、多湿箇所、水掛り部分及び屋外については、ポリスチレンフォームとする。		・方 式、○空気調和 ○冷暖房		○図示による。		○ 配管材料																				
		・特記なき場合、配管及びダクトの保温外装は下記による。		○空気調和機 ○FCU ○FCU・ダクト併用方式 ○パッケージ方式		の構成・機能		(図面特記分は除く)																				
		<table><tr><td rowspan="5">ダクト</td><td>屋内露出</td><td>倉庫・書庫</td><td>○アルミガラスクロス</td><td>○カラー亜鉛鉄板</td></tr><tr><td>機械室</td><td>○アルミガラスクロス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>居室・廊下など</td><td>○カラー亜鉛鉄板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>○ステンレス鋼板</td><td></td><td></td></tr><tr><td>多湿箇所()</td><td>○ステンレス鋼板</td><td></td><td></td></tr></table>		ダクト	屋内露出	倉庫・書庫	○アルミガラスクロス	○カラー亜鉛鉄板	機械室	○アルミガラスクロス			居室・廊下など	○カラー亜鉛鉄板			屋外露出	○ステンレス鋼板			多湿箇所()	○ステンレス鋼板			・熱 源、○ボイラー ○温水発生器 ○冷水温水発生器 ○冷凍機 ○EHP ○GHP ○水蓄熱		・屋内、屋外を問わず、鋼製の電線管・ボックスは塗装を行う。	
					ダクト	屋内露出	倉庫・書庫	○アルミガラスクロス	○カラー亜鉛鉄板																			
						機械室	○アルミガラスクロス																					
						居室・廊下など	○カラー亜鉛鉄板																					
						屋外露出	○ステンレス鋼板																					
		多湿箇所()	○ステンレス鋼板																									
		・制御方式、○電気式 ○電気式 ○電子式 ○デジタル式		ただし、(○ピット内 ○パイプシャフト内 ○機械室内)は除く。																								
・燃料等、○都市ガス ○電気 ○灯油 ○A重油(1号)																												
<table><tr><td rowspan="5">配管</td><td>屋内露出</td><td>倉庫・書庫</td><td>○アルミガラスクロス</td><td>○合成樹脂製カバー</td></tr><tr><td>機械室</td><td>○アルミガラスクロス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>居室・廊下など</td><td>○合成樹脂製カバー</td><td>○保温化粧ケース(冷媒管)</td><td></td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>○ステンレス鋼板</td><td>○保温化粧ケース(冷媒管)</td><td></td></tr><tr><td>多湿箇所()</td><td>○ステンレス鋼板</td><td>○保温化粧ケース(冷媒管)</td><td></td></tr></table>		配管	屋内露出	倉庫・書庫	○アルミガラスクロス	○合成樹脂製カバー	機械室	○アルミガラスクロス			居室・廊下など	○合成樹脂製カバー	○保温化粧ケース(冷媒管)		屋外露出	○ステンレス鋼板	○保温化粧ケース(冷媒管)		多湿箇所()	○ステンレス鋼板	○保温化粧ケース(冷媒管)		○塗装工事		11. 厨房機器設備			
			配管	屋内露出	倉庫・書庫	○アルミガラスクロス	○合成樹脂製カバー																					
				機械室	○アルミガラスクロス																							
				居室・廊下など	○合成樹脂製カバー	○保温化粧ケース(冷媒管)																						
				屋外露出	○ステンレス鋼板	○保温化粧ケース(冷媒管)																						
多湿箇所()	○ステンレス鋼板	○保温化粧ケース(冷媒管)																										
○設計温湿度		○電気		○厨房機器設備概要		○図示による。(ただし、寸法は参考とする。)																						
○ばい煙濃度計		○灯油 ○A重油(1号)				○熱源:○ガス(○都市ガス ○液化石油ガス) ○電気																						
○項目		○灯ける																										
2. 塗装工事		・屋内、屋外を問わず、保温を行わない鋼製の露出配管・ダクトは塗装を行う。		○項目		○給水設備概要		項 目																				
		ただし、(○ピット内 ○パイプシャフト内 ○機械室内 ○屋上)は除く。		○別途		・○給水引込管: φ(○新設 ○既設)		特 記 事 項																				
		・既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。		○鋼板厚(○3.2mm ○4.5mm)		○水道直結方式 ○高置タンク方式 ○ポンプ直送方式 ○タンクレスブースターポンプ方式		(4) その他事項																				
		なお、復旧はモルタル補修とするが、仕上げは原形復旧とする。		○ダクトの種別・工法		○水道加入金		撤去工事																				
		はつり穴開けの施工に当たり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。放射線透過検査については監督員の指示によるものとし、費用は本工事に含む。		○割り込み工法 ○直付け工法		○配管材料		敷地内にある給排水、ガスの配管(埋設管含む)、機器類については適切に撤去・処分すること。																				
		はつり穴開けの施工に当たり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。放射線透過検査については監督員の指示によるものとし、費用は本工事に含む。		○取り付け箇所は(○図示した位置 ○送風機吐出ダクト又は吸込みダクト ○外気取入れダクト ○空調機出口チャンパの分岐ダクト)		(図面特記分は除く)		アスベスト(バッキング、エルボ等)は下記の都屋に入っている可能性があるため調査の上撤去すること。																				
		・地中埋設機 ○要(図示の箇所) ○不要		○内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。		項 目		バッキング:教室棟3階廊下																				
		・埋設標示テープ ○要 ○不要		・空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。(点検口の大きさは図示による。)		○弁類		エルボ:教室棟1階ポンプ室																				
		・屋外及び便所、厨房等の多湿箇所ならびに床下ピットにて使用するアンカーボルトはステンレス製又は、溶融亜鉛めっき製とする。(あと施工アンカーを含む)		・外面に面するガラリに直付のチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工すること。		○量水器																						
		・溶融亜鉛めっき製とする。(あと施工アンカーを含む)		・防煙ダンパー 復帰方式(○遠隔 ○)		○量水器樹																						
3. はつり工事		・特記なき場合、屋外及び便所、厨房等の多湿箇所ならびに床下ピット、スラブ下埋設配管に使用する支持架台は、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき製とする。また、同様の場所にて使用するボルトナット、ワッシャー、ビス、吊ボルト等もステンレス製又は溶融亜鉛めっき製とする。		○ダンパー		○水質検査																						
		・建物内スラブ下埋設配管はスラブ等から支持を行うこと。また、特記なき場合の支持間隔は隠蔽配管に準ずる。		○配管材料		○検査項目 ○遊離残留塩素濃度																						
		・地盤を掘削する場合、切取り面にこの箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には土留工を施すものとする。原則として、1.5mを超え2.0mまでは、あて木矢板(2段支保工)により、2.0mを超える場合は軽量鋼矢板(2段支保工)により土留め施工を行うものとするが、土留め施工を行うにあたっては、労働安全法、建築基準法等関係法令を遵守し施工のこと。		(図面特記分は除く)		○特定建築物 15項目(一般細菌・大腸菌・硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素・塩化物イオン・有機物(全有機炭素の量)・pH値・味・臭気・色度・濁度・鉛及びその化合物・亜鉛及びその化合物・鉄及びその化合物・銅及びその化合物・蒸発残留物)																						
		・防火区画貫通部分の配管・ダクト等は、建築基準法施行令第112条15項に基づき施工のこと。		○冷温水管:○配管用炭素鋼鋼管(白) ○水配管用亜鉛めっき鋼管		○親メーター(○貸与品) 子メーター(○買取品(○水道事業者指定 ○標準図) ○貸与品)																						
		・下記工事区分表による。ただし、これにより難しい場合は監督員と協議する。		冷却水管:○配管用炭素鋼鋼管(白)		○親メーター(○水道事業者指定 ○標準図) 子メーター(○水道事業者指定 ○標準図)																						
		工事区分表(取合い区分は、原則○印の区分とする。ただし、●印がある場合はこの区分とする。)		○水道用硬質塩化ビニル管(SGP-VA)又は 水道用*リフレク粉体ライニング鋼管(SGP-PA)		・検査箇所:○受水槽 ○調理施設水栓 ○プール槽(循環ろ過装置の出口) ○監督員の指示する箇所																						
		工 事 項 目		ドレン管:○配管用炭素鋼鋼管(白) ○硬質*リ塩化ビニ管		○学校プール 7項目(pH値・大腸菌・一般細菌・有機物等・濁度・総トリハロメタン・循環ろ過装置の出口の濁度)																						
		機器の基礎及びピット		給水管:○水道用耐衝撃性硬質*リ塩化ビニ管		・検体数:○遊離残留塩素濃度… 検体																						
		同上架台		○水道用硬質塩化ビニル管(SGP-VA)又は 水道用*リフレク粉体ライニング鋼管(SGP-PA)		○15項目… 検体 ○9項目… 検体 ○10項目… 検体 ○7項目… 検体																						
		梁及び壁の貫通スリーブ入れ及び穴埋め補修		冷媒管:○断熱材被覆銅管(断熱厚さは液管10mm以上(液管呼び径が9.52mm以下は8mm)、*リ管20mm以上)		・検査箇所:○受水槽 ○調理施設水栓 ○プール槽(循環ろ過装置の出口) ○監督員の指示する箇所																						
4. 埋設標示(排水管を除く)		・梁及び壁の貫通部補強		○弁類		○排水設備																						
		機器への給排水配管接続工事		・JIS又はJV(○5K ○10K(図示部分))		○排水設備概要		・建物内汚水・雑排水(○分流 ○合流)																				
		機器へのガス配管接続工事		・口径65A以上のバルブはバタフライバルブ(本体:アルミ製 弁体:ステンレス製)とする。		・建物外放流先 汚水:○公共下水道直放流 ○し尿浄化槽																						
		機器付属操作盤への一次側電気工事		○鋼管用伸縮管継手		雑排水:○公共下水道直放流 ○し尿浄化槽																						
		同上操作盤からの二次側電気工事		○防振継手		○負担金		・○不要 ○要(○本工事 ○別途)																				
		同上操作盤からの故障警報用配管配線		○フレキシブルジョイント		○配管材料		・屋内汚水管:○排水・通気用耐火二層管 ○押付け硬質*リ塩化ビニ管発泡三層管(ピット内)																				
		空調機等のリモコンスイッチの取付及び結線		○保温及び消音内貼り		(図面特記分は除く)		○硬質*リ塩化ビニ管 ○排水用硬質塩化ビニル管(SGP-PA)																				
		同上機器からリモコンスイッチまでの配管及びボックス		・標準仕様書第2編3.1.4によるほか、下記による。		○満水試験継手		・屋内雑排水管:○排水・通気用耐火二層管 ○押付け硬質*リ塩化ビニ管発泡三層管(ピット内)																				
		同上機器からリモコンスイッチまでの操作配線		・下記のダクトは保温を行う。		○ハート樹・ため樹		及び通気管 ○硬質*リ塩化ビニ管 ○排水用硬質塩化ビニル管(SGP-PA) ○配管用炭素鋼鋼管(白)																				
		セパレート型エアコンの室内から室外機への渡り操作配線		○機器の振れ止め		○給湯設備		・屋外配管:○硬質*リ塩化ビニ管(VP) ○硬質*リ塩化ビニ管(VU)																				
5. 他工事又は他工程との取合い		マルチ型エアコンの室内機間の渡り配線及び集中操作盤の取付		○空調能力表示		○給湯設備概要		○図示の箇所に取付ける。																				
		換気扇の取付		○換気設備		○配管材料		○小口径マス(塩ビ製) ○コンクリート製																				
		同上機器の手元スイッチの取付及び配管配線・ボックス及び結線		○ダクトの種別・工法		(図面特記分は除く)		・樹のコンクリート部は工場製品としてもよい。																				
		自動制御盤一次側電源工事(配管・配線及び結線共)		・○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法)		○満水試験継手		・塩ビ製小口径マス下流側の排水管接続はVP-VUソケットを使用のこと。																				
		便器洗浄用感知装置への電源供給配管配線		○高圧ダクト(○アングルフランジ工法)		○消火設備																						
		水槽類の電極棒・電極帯及びフロートスイッチ		○硬質ポリ塩化ビニル管 ○スパイラルダクト		○消火設備概要		・○屋内消火栓 ○スプリンクラー(○開放型 ○閉鎖型) ○泡消火 ○不活性ガス消火																				
		機器・器具及び配管等の吊ボルト用インサート		・厨房系統の長方形排気ダクトは共通仕様書より一番手厚いものを使用する。		○配管材料		・一般配管:○配管用炭素鋼鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40)																				
		天井埋込器具等の取付箇所の天井ボードの地下切込み及び補強		・取付位置は(○図示した位置 ○遠心送風機吐出ダクト又は吸込みダクト ○外気取入れダクト)とする。		(図面特記分は除く)		・地中配管:○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(○SGP-VS ○STPG 370 VS)																				
		壁への埋込型機器及び壁等の仮枠		○風量測定口		○保温		・屋外露出配管は保温を行う。(標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による)																				
		同上埋込部の補強		○ダンパー		○消火器		・消火用補給水槽:○保温型 ○保温不要																				
6. 軽量鉄骨壁への機器及び壁等の地下切込み及び補強		軽量鉄骨壁への機器及び壁等の地下切込み及び補強		○排気ダクトのシール		○給湯設備																						
		天井点検口の取付		○チャンパー		○配管材料		○給湯設備概要																				
				・空気調和設備の標準仕様書当該項目による。		(図面特記分は除く)		・○中央式(○電気 ○ガス) ○局所式(○電気 ○ガス)																				
				・空気調和設備の標準仕様書当該項目によるほか下記による。		○配管材料		○鋼管(M) ○外面被覆鋼管 ○水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管																				
				・下記のダクトは保温を行う。		(図面特記分は除く)		○架橋ポリエチレン管 ○ポリブタン管																				
				○全熱交換器用の給気ダクト及びチャンパーボックス(保温の厚さ25mm)		○弁類		・JISまたはJV(○5K ○10K(図示部分))																				
				○(○厨房 ○湯沸室 ○)用の隠ぺい部ダクト(仕様はh、(イ)、Ⅸとする)		○保温		・口径65A以上のバルブはバタフライバルブ(本体:アルミ製 弁体:ステンレス製)とする。																				
				3. 排煙設備		○満水試験継手		・膨張管及びボイラーへの補給水管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の冷水・冷温水管の項による。																				
				○ダクトの種別・工法		○給湯設備		給湯機器排気管はPS内についても保温を行う。(仕様は隠蔽部排気管に準ずる)																				
				○ダクトの材質		○給湯設備概要																						
7. 換気設備		○排煙口		・○高圧1ダクト ○高圧2ダクト(※いずれもアングルフランジ工法とする)		○配管材料																						
		・形状:○スリットフェース型 ○パネル型 ○ダンパー型		・○亜鉛鉄板 ○		(図面特記分は除く)		○給湯設備																				
		・作 動:○手動(○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 ○中央遠隔操作		・○排煙機 ○		○弁類		○給湯設備概要																				
		・復帰装置:○手元復帰式(○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式		○排煙機		○配管材料		・○中央式(○電気 ○ガス) ○局所式(○電気 ○ガス)																				
		・ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。		○排煙機		(図面特記分は除く)		○鋼管(M) ○外面被覆鋼管 ○水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管																				
		・建築設備定期検査業務基準書(日本建築設備昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。		○排煙機		○保温		○架橋ポリエチレン管 ○ポリブタン管																				
				○排煙機		○弁類		・JISまたはJV(○5K ○10K(図示部分))																				
				○排煙機		○保温		・口径65A以上のバルブはバタフライバルブ(本体:アルミ製 弁体:ステンレス製)とする。																				
				○排煙機		○満水試験継手		・膨張管及びボイラーへの補給水管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の冷水・冷温水管の項による。																				
				○排煙機		○給湯設備		給湯機器排気管はPS内についても保温を行う。(仕様は隠蔽部排気管に準ずる)																				
8. 消火設備		○排煙風量測定		○排煙機		○給湯設備																						
				○排煙機		○給湯設備概要																						
				○排煙機		○配管材料		・○屋内消火栓 ○スプリンクラー(○開放型 ○閉鎖型) ○泡消火 ○不活性ガス消火																				
				○排煙機		(図面特記分は除く)		○連絡給水管 ○連絡散水 ○屋外消火栓																				
				○排煙機		○保温		・一般配管:○配管用炭素鋼鋼管(白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40)																				
				○排煙機		○弁類		・地中配管:○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(○SGP-VS ○STPG 370 VS)																				
				○排煙機		○保温		・屋外露出配管は保温を行う。(標準仕様書第2編3.1.5の給水管の項による)																				
				○排煙機		○満水試験継手		・消火用補給水槽:○保温型 ○保温不要																				
				○排煙機		○給湯設備																						
				○排煙機		○給湯設備概要																						

工事名称		旧佐太老人福祉センター解体工事				令和6年度 図面サイズ
図面名称		特記仕様書 (2)				A2
設計事務所	株式会社 C A D S			代 表 設 計 作 図 縮 尺	M	
				清水 鈴木 鈴木 -	002 009	



参考図面

工事名称		旧佐太老人福祉センター解体工事				令和6年度
図面名称		給排水設備 1階平面図				図面サイズ
設計事務所	株式会社C A D S		代 表 設 計 作 図 縮 尺			A2
			清水	鈴木	鈴木	M
					1/100	003 / 009

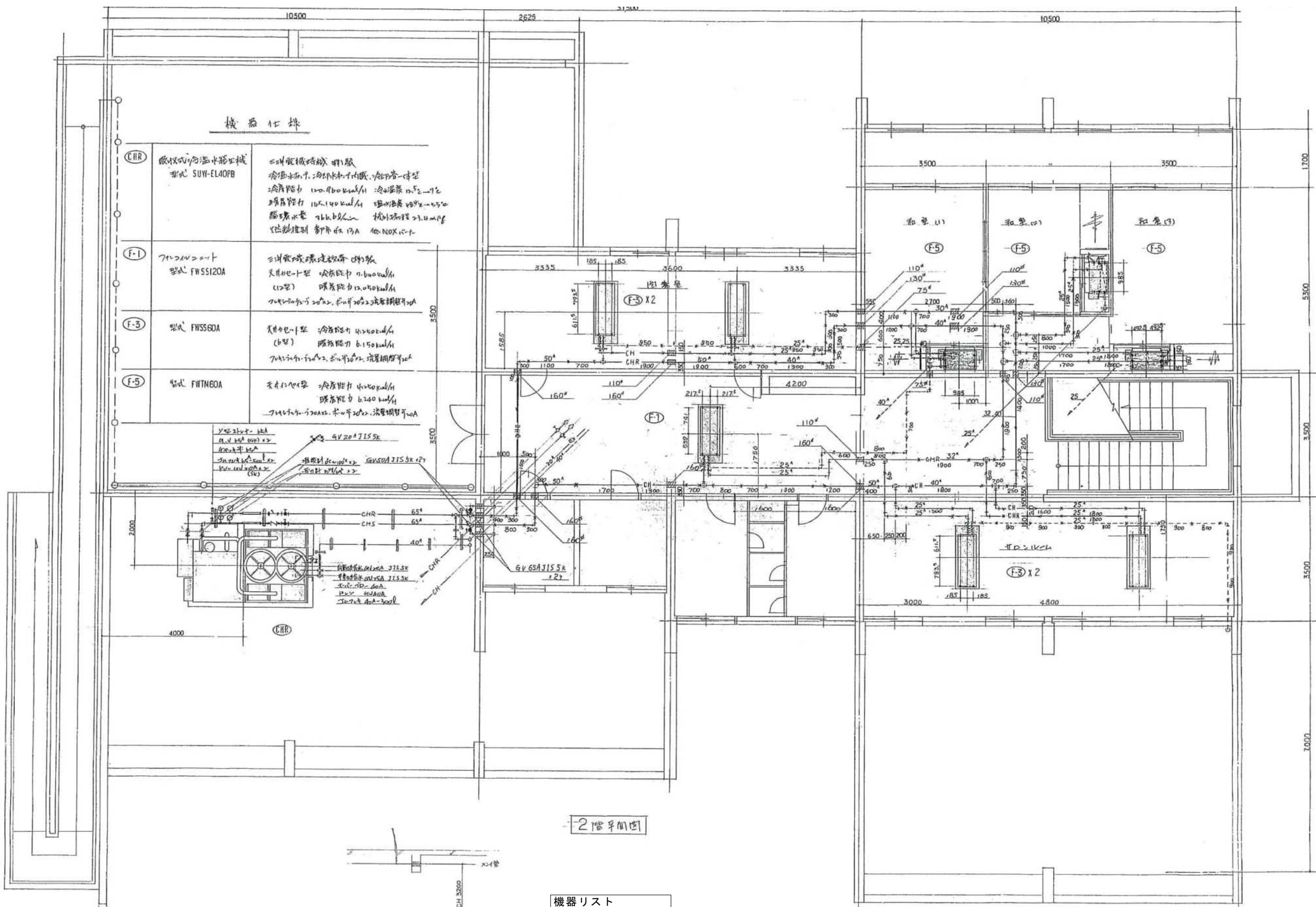


1階平面図

機器リスト	
記号	数量
F-1	3
F-2	4
F-3	-
F-4	4
F-5	2
CHR	-
TE	-

参考図面

工事名称		旧佐太老人福祉センター解体工事		令和6年度
図面名称		空調設備 1階平面図		図面サイズ
設計事務所		株式会社CADS		A2
代表設計者		清水	鈴木	M
縮尺		鈴木	1/100	005/009

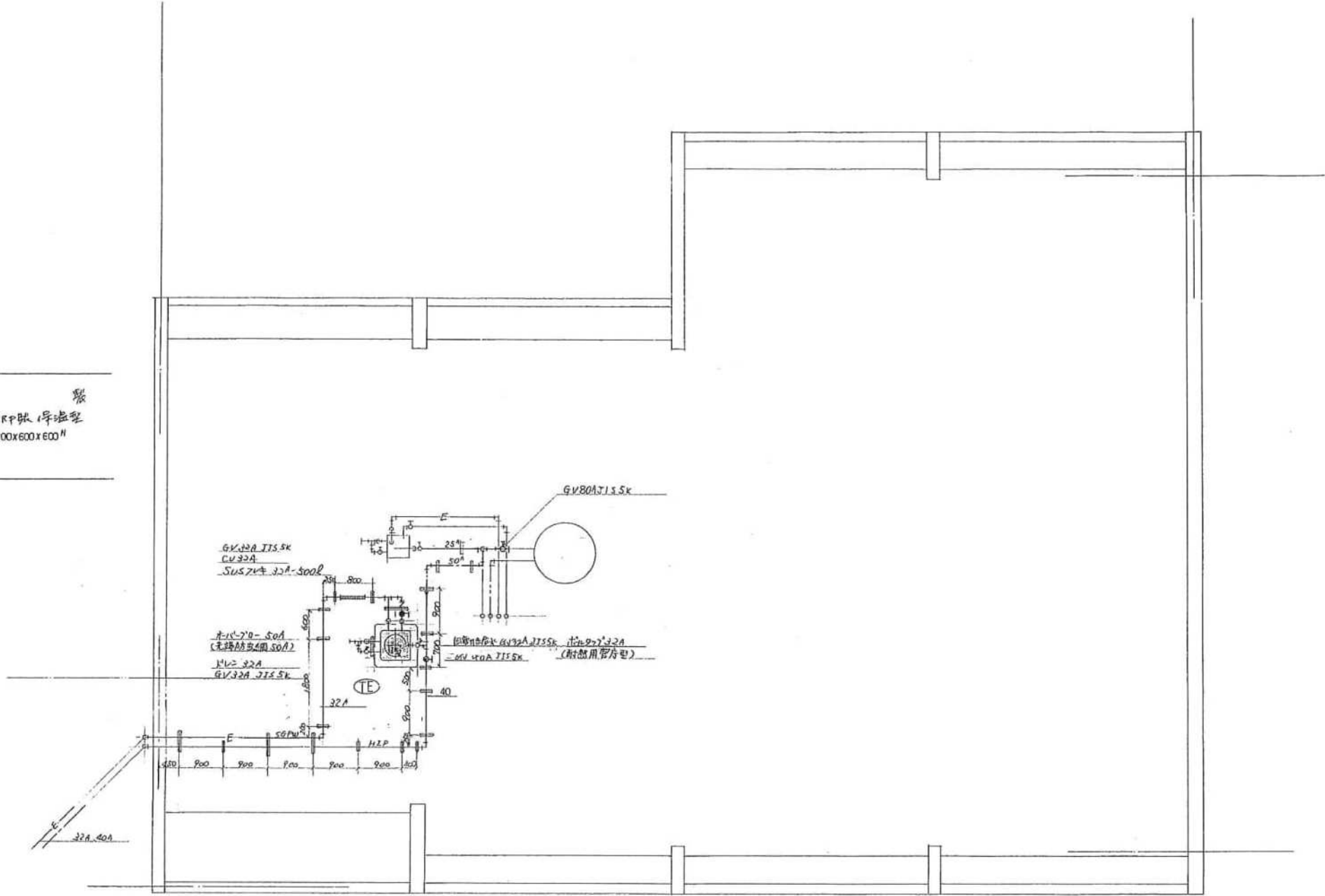


機器リスト	
記号	数量
F-1	1
F-2	-
F-3	4
F-4	-
F-5	3
CHR	1
TE	-

参考図面

工事名称		旧佐太老人福祉センター解体工事		令和6年度
図面名称		空調設備 2階平面図		図面サイズ
設計事務所	株式会社CADS		代表設計	A2
			清水 鈴木 鈴木	M
			1/100	006/009

T-E	断熱タマ	FRP板 1号塩ビ 600x600x600H
	平床面外(3階面外壁面)	

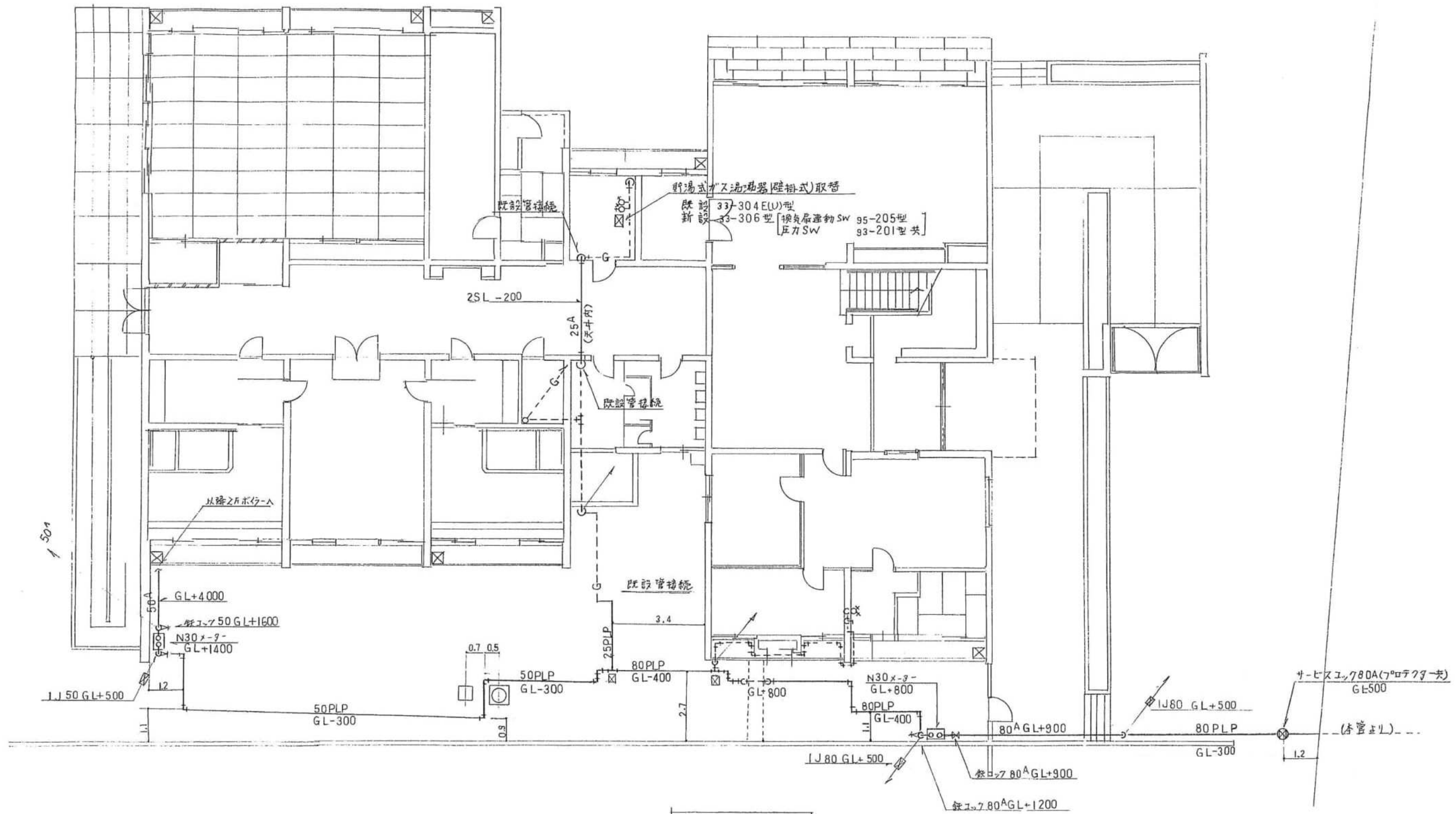


R階平面図

機器リスト	
番号	数量
F-1	-
F-2	-
F-3	-
F-4	-
F-5	-
CHR	-
TE	1

参考図面

設計事務所	株式会社C A D S	代表設計作図縮尺				令和6年度 図面サイズ
		清水	鈴木	鈴木	1/100	A2 M 007 009

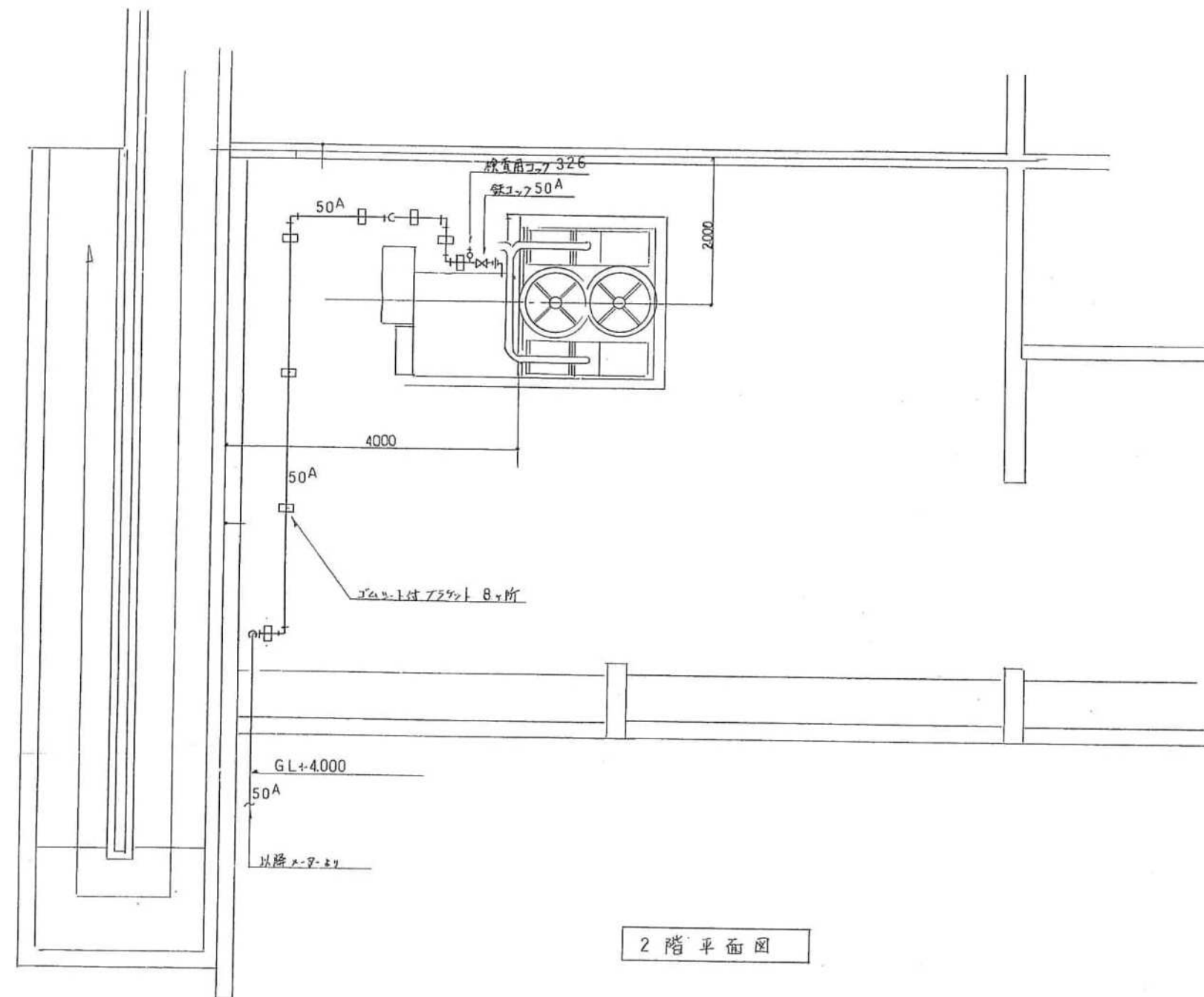


1階ガス平面図

--- 既設配管を示す
— 今回配管を示す

参考図面

工事名称		旧佐太老人福祉センター解体工事				令和6年度
図面名称		ガス設備 1階平面図				図面サイズ
設計事務所	株式会社C A D S				A2	
	代表設計者				M	
	清水	鈴木	鈴木	1/100	008	009



参考図面

工事名称		旧佐太老人福祉センター解体工事				令和6年度	
図面名称		ガス設備 2階平面図				図面サイズ	
設計事務所	株式会社C A D S		代 表 設 計 作 図 縮 尺				A2
							M
			清水	鈴木	鈴木	1/100	009 009